

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県学生会館補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 清流の国づくり政策課 企画調整係 電話番号：058-272-1111 (内2514)

E-mail：c11122@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,252 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,252	0	0	0	0	0	0	0	1,252
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

女子風呂の循環器は平成21年、男子風呂の循環器は平成22年に取り付けられたが、すでに10年以上経過しており、老朽化している。業者からは交換時期に来ているとの指摘を受けており、故障すると風呂が利用できなくなるため、学生の居住環境を確保するためにも早急に交換工事を行う必要がある。

(2) 事業内容

岐阜県学生会館は、県内出身学生に対し経済的に支援するという方針で運営されている学生寮であり、岐阜県出身者の就学機会の向上を図っている。今回、岐阜県学生会館における風呂の循環器及び配管の交換工事について補助金を交付し、学生の居住環境を改善する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率3分の1

岐阜県学生会館の居住環境整備事業を支援し、入居する県内出身学生の居住環境を改善する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,252	岐阜県学生会館におけるお風呂の循環器及び配管の交換工事
合計	1,252	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(1) 未来を支える人

(2) 後年度の財政負担

県内出身者の就学機会の向上を図るとともに、県の人材育成に貢献している学生会館の運営支援のため、当館の運営法人が行う居住環境整備事業への支援は継続的に実施していく必要があり、次年度以降においても財政負担が発生する。

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県学生会館は、公益財団法人濃飛会によって運営されており、県内出身者の就学機会の向上及び県の人材育成等を図っている。

卒寮生の中から、各界で活躍する人材を輩出しており、岐阜県内で就職し活躍している者も多いことから、同法人が実施する岐阜県学生会館の居住環境整備のための事業について支援する。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県学生会館補助金
補助事業者 (団体)	公益財団法人濃飛会 (理由) 岐阜県学生会館は公益財団法人濃飛会によって運営されているため。
補助事業の概要	(目的) 県内出身者の就学機会の確保 (内容) (公財) 濃飛会が運営する岐阜県学生会館が行う、居住環境整備事業等に補助金を交付する。
補助率・補助単価等	定率 (1/3)
補助効果	居住環境整備工事等に対して補助金を交付し、運営を支援することにより、県内出身者の就学機会の向上及び県の人材育成等に繋がっている。
終期の設定	令和5年度

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか (公財) 濃飛会が実施する岐阜県学生会館の居住環境向上のための居住環境整備事業等について、補助金を交付し支援する。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	終期目標 (R)	達成率
①目標設定なし (居住環境向上のための事業のため)	/	/	/	/	/	/

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	4,333	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	交付なし
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	岐阜県学生会館は、(公財)濃飛会によって運営されており、県内出身者の就学機会の向上を図っているが、施設が老朽化しているため、同法人が実施する県内出身学生の居住環境改善のための居住環境整備事業について支援する。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	居住環境整備事業等への補助を実施し、寮生の居住環境の改善が図られている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	速やかに改善を必要とする居住環境整備事業等に対して補助している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県学生会館は、県内出身学生の就学機会の向上を図っている学生寮であり、県の人材育成にも貢献していることから、今後も継続して補助していく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--